

2024年 月 日

これまでに経カテーテル大動脈弁置換術を受けられた患者様、ご家族の方へ

当院では、経カテーテル大動脈弁置換術後の予後に関わる臨床研究を実施しています。この研究は、通常の診療で得られた記録をもとに行われるものですが、この案内をお読みになり自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者まで連絡下さい。

【対象となる方】

2014年から2022年に当院で経カテーテル大動脈弁置換術を受けた方

【研究課題名】

バルサルバ洞の大きさが経カテーテル大動脈弁置換術後の予後に与える影響の検討

【研究責任者】

毛見 勇太 群馬県立心臓血管センター 循環器内科

【研究目的】

経カテーテル大動脈弁置換術前のCTでのバルサルバ洞の大きさが予後に与える影響について検討することを目的としました。

【利用するカルテ情報、資料】

年齢、性別、身長、体重、採血結果、薬剤情報、心臓超音波検査やCT検査の結果、心不全再入院や生存の有無

【研究期間および研究場所】

2024年10月～2027年10月まで 群馬県立心臓血管センター

【個人情報の取り扱い】

登録されたデータは、名前、住所などの個人を特定できるような状態で使用することはありません。

【問い合わせ先】

群馬県立心臓血管センター 循環器内科

担当医師 毛見 勇太 電話番号：027-269-7455（代表）